

議 事 録

会議の名称	令和3年度第1回国民健康保険運営協議会	
開催日時	令和3年5月20日(木) 午後1時30分 開会 ・ 午後2時45分 閉会	
開催場所	環境プラザ 3階 研修室	
議長(委員長・会長)氏名	会 長 高橋 剛	
出席者(委員)氏名 (人数)	副会長 市村 博子 委 員 森田 正治 委 員 島崎 賢一 委 員 田中 國廣 委 員 天野 勉 委 員 川口 知子 委 員 樋口 直喜 委 員 宮本 将彦	委 員 新井 正司 委 員 宇津木 二郎 委 員 笛木 栄 委 員 増田 俊和 委 員 海沼 秀幸 委 員 田畑 たき子 委 員 柴田 潤一郎 委 員 井上 昭夫  16人
欠席者(委員)氏名 (人数)	委 員 藤田 龍一 委 員 得丸 幸夫 委 員 小室 万里 委 員 小川 俊夫	4人
議事録署名人	委 員 宇津木 二郎 委 員 川口 知子	
事務局職員職氏名	財政部参事兼収税課長 収税課副課長 国民健康保険課長 国民健康保険課副課長 国民健康保険課副主幹 国民健康保険課副主幹 国民健康保険課副主幹 国民健康保険課主任	野村 哲 石倉 照久 小野寺 雅樹 米山 隆 鈴木 朋子 岡田 英之 小野澤 勝美 勝村 則子
会議次第	1 開 会 2 挨 拶 3 議 題 (1) 川越市国民健康保険第2期データヘルス計画の見直しについて (2) 川越市国民健康保険赤字解消・削減計画の見直しについて (3) 令和3年度川越市国民健康保険運営協議会スケジュールについて (4) その他 4 閉 会	

配布資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 資料1-1 川越市国民健康保険第2期保健事業等実施計画（データヘルス計画）中間評価報告書【概要版】</li> <li>2 資料1-2 令和元年度個別保健事業の指標</li> <li>3 資料2-1 川越市国民健康保険赤字解消・削減計画の見直しについて</li> <li>4 資料2-2 川越市国民健康保険赤字解消・削減計画書</li> <li>5 資料2-3 川越市赤字解消・削減計画進行管理表</li> <li>6 資料3 令和3年度川越市国民健康保険運営協議会スケジュール（予定）</li> </ol>
------	--

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開 会 ○会議資料の確認
会長	2 挨 拶 ○国民健康保険課長から挨拶 ○担当職員紹介 ○会長から挨拶 ○傍聴希望者の確認（なし） ○欠席委員報告 ○議事録署名委員指名
事務局	3 議 題 (1) 川越市国民健康保険第2期データヘルス計画の見直しについて ○事務局から資料に基づき説明 ○質疑
委員	2の個別保健事業評価について、(3)環境整備事業についての説明で、民間企業との協力等による保健事業の共同啓発の実施体制を整えることができたとあるが、どのようなものなのかももう少し詳しく教えていただきたい。 次に、一定の協力体制を構築できたとある一方、協力を依頼する事業についての情報提供や調整が不足していたとあるが、どのような課題があったのか見えづらいので説明していただきたい。 最後に、4ページ目の診療情報提供事業の拡充について、医師会加入の医療機関に依頼し、通院中の健診未受診者について主治医に診療情報提供してもらうことで、健診受診率向上につながるということだが、果たしてこれで向上につながるのか。市内医療機関の何割が医師会に加入しているのか、協力医療機関が多ければそれだけ機会が増えると思うので、以上3点について伺います。
事務局	民間企業等との協力については、民生委員児童委員協議会連合会理事会での健診の啓発依頼、協会けんぽとチラシの作成、JAで健診結果説明会実施やJAまつりで特定健診の啓発等でございます。 2点目の情報提供や調整の方法についての改善ですが、チラシ等で対象者にわかりやすく伝えていくことを通して効果を上げていく、改善を重ねて対応していくということが一つでございます。 3点目の診療中の健診未受診者についての診療情報提供について

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>は、担当者より説明します。</p> <p>補足を含めて説明させていただきます。</p> <p>民間企業との協力に関しては、中外製薬と共催で、市民講演会を続けて開催しております。製薬会社の著名な専門医とのパイプを活かして講師を招き、糖尿病性腎症の重症化予防などの講演を行い、多くの市民が来場するため、会場内のブースでは健診等の啓発のほか、庁内関係課による啓発も実施しております。昨年度はコロナのため開催できず、今年度もコロナの状況がありますので、どう開催するか協議中です。</p> <p>情報提供の課題については、かかりつけ医による健診受診勧奨や事業の利用勧奨の効果が高いことが分かっているので、健診や糖尿病性腎症重症化予防事業等に事業協力をお願いする先生方へ、地区ごとの健診受診率や有所見率のほか、未受診者への未受診理由の調査結果や事業についてのわかりやすい資料提供が必要と考え、先生のご協力を得られるような内容を考えながら実施しているところです。</p> <p>診療情報提供事業については、受診率の低い地区の未受診理由の調査では治療中やかかりつけ医ありの方が67%を占めており、特定健診に該当する検査をすでに受けている方がいらっしゃる可能性があるため、その方については先生に診療情報提供をいただくことで受診率や様々な保健事業につなげることができるということで、事業を予定しております。</p> <p>医師会加入の医療機関の割合については把握しておりません。</p>
委員	<p>1点質問ですが、この診療情報提供事業を進めることでどれぐらいの受診率向上につながると市は見ているのか。少なく見積もってどれぐらいアップするとの見立てはありますか。</p>
事務局	<p>見立ては難しいのですが、令和元年度に行った市内の受診率の低い地区での調査では、未受診理由の約7割が治療中やかかりつけ医ありという結果があります。先生も大変お忙しいとは思いますが、少しでも提供していただければと、あらゆる可能性を考えてデータを集めていきたいと考えております。県からもこの事業を進めてほしいとの強い要請もあり、何とか進めていきたいと思っております。</p>
委員	<p>今の質疑の中での、かかりつけ医から診療情報を提供いただいて受診率を上げていくという事業ですが、仕組みはあるがほとんどの自治体で行われていない状況です。実際にはかかりつけ医で1年に1回く</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	<p>らいは検査をしていて、データはありますのでぜひ進めていただきたいと思います。県のほうでも当然全体的にやっていきたいと思っております。医師会の協力ができないので、川越市では西部地区の模範として進めていただけるとありがたいと思います。</p> <p>健診と糖尿病性腎症について、まず、1点目の健診だが、がん検診との連携状況について、県からがん検診と特定健診をセットで行えば受診率が上がるというデータが行っていると思いますが、3月にも疾病対策課から一緒にやっていただきたいというような通知も出ていると思います。健診受診率を上げていきたいという中でも、場の提供を増やしたり、がん検診とセットで行うということは非常に重要だと思うのだが、そのあたりはどうなっているのでしょうか。</p> <p>もう1点は、糖尿病性腎症の重症化予防で、わかりやすい資料を出す先は医療機関のようなのですが、川越市も国保連で一括してやっていると思いますが、実際に保健事業をやっているところが外部委託されていて、かかりつけ医との連携が実はしっかりとれていない。したがって、説明資料を医者に出しても、かかりつけ医はそんなことは百も承知のことなので、保健指導をする人とのコミュニケーションをしっかりとることが重要だと思っておりますので、ここについては、資料提供ということではなく、どのようにコミュニケーションが取れているのかしっかりと見定めていただいて対策をとっていただけたらと思います。</p> <p>1点目は質問、2点目は意見でよろしいです。</p>
事務局	<p>川越市では、健診につきましては国民健康保険課、がん検診につきましては健康管理課で行っておりますが、実施期間を6月から翌年1月までと統一しまして、健診のご案内をお送りするときに、健診とがん検診について医療機関ごとに何が受けられるかということを一覧にしてご案内しております。申し込みは直接医療機関となりますので、対象者が医療機関を選んで受診しております。昨年度、実施医療機関での胃がん健診と特定健診の同日受診をみた際、同日受診よりも別に受診した人のほうが増えていたということがございました。</p>
委員	<p>実際に紐付けしてどのような形か住民にアンケートではないですが、場の提供が必ずしも利用しやすいようになっているかというところはそうでないというのが実態だと思います。チラシには一緒に出ているけれども、がん検診と特定健診はそれぞれ別の部署から案内がある。どこの市町村でも違うセクションがやっているものですから、中々受ける片は一緒という形になりにくいことが多い。出している</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委員	<p>からわかるでしょうというのは行政の見方で、受ける方からするとちよっと違うと思っていますので、もう少し丁寧なアプローチが必要だと思っていますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>指標の確認で、資料の1の2を見させていただくと、各種事業で共通するアウトカムを指標に持つ事業がいくつかあると思うのですが、個別の事業がどのような成果を持ったのかを図れる仕組みをお持ちであるかどうか一点確認させてください。</p>
事務局	<p>見直しに当たり、特定健診の受診率をアウトカム指標にしている事業が多く、受診率につながるそれぞれの事業のアウトカムが必要であると改めて感じました。どのようなアウトカムにするかはまだ研究中でありまして、見直しをしていきたいと思っております。</p>
委員	<p>受診率は最終アウトカムで最終ゴールだというのが共通の理解だと思いますので、その前の中間アウトカムみたいなものが設定されないと、結局受診率が上がってしまえばどの事業もよくできましたとなってしまうと思いますので、中間アウトカムを設定してそれがうまく機能したから、最終アウトカムたる受診率が向上したのだというようなロジックが説明できるような形に設定していただければと思いますので宜しくお願いいたします。</p>
副会長	<p>環境整備につきまして、川越市の様々な数値の建前はいいのですが、地域で取り組まないと他人事のように通り過ぎて行ってしまうので、いろいろな数値が地域的に出るものであれば、数値を地域に落とさせていただくと、保健推進員にしても地域で講座が組めたり、それを取り組みましようねという課題になります。川越市全体となってしまうと地域性が出ないので、地域の数値が出せると私たち民生委員や自治連、保健推進員の団体も取り組みやすいのかなと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。特定健診の受診率や有所見率等について、地区ごとに出しております。また、昨年度からは、本庁地区をさらに細かい地区に分けて出しております。保健推進員や健康づくり支援課、受診率の低い地区の自治会長などに提供したのですが、昨年はコロナの影響もあり、外での啓発活動ができなかったと聞いております。今年も、地区ごとのデータが出せるように準備してまいりたいと思っております。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委員	副会長が言われたように、横断的な各支会単位の組織もありますので、例えば、社会福祉協議会ですとか、いもっこ体操などをやりながら健康の啓発等しておりますので、そういうところとの横断化の協力体制も必要でないか、長くソフトな感じの取組もよろしいのではないかと思いますので、意見として、よろしく願いいたします。
事務局	(2) 川越市国民健康保険赤字解消・削減計画の見直しについて ○事務局から資料に基づき説明 ○質疑
委員	診療情報提供事業が赤字解消・削減計画で具体的にどのような効果をもたらすのか、金額が出ていればどのくらいの効果をもたらすのかわかりやすくご説明願いたいのですが。
事務局	初めて行わせていただきますので、どのくらい効果が得られるのか、どのくらい情報提供いただいて、特定健診の受診率につながるのかを確認してまいりたいと思います。コロナの影響もありますが、少しでも効果を上げてまいりたいと思います。
委員	具体的な金額というよりは、特定健康診査の受診率を上げるという意味合いでおやりになるということによろしいですか。
事務局	おっしゃるとおりでございます。
委員	今、ご質問いただいた受診率が上がるといくら削減効果があるかという話ですが、受診率が上がることが目的ではなく、データヘルス計画はデータがないと進められない。したがって、健診率が上がれば加入者のデータが増え、未受診者に受診を促すこともできるということです。例えば、具体的な例を挙げると糖尿病の懸念がある方で、未受診の方に受診を促しケアを受けることによって、その先に進ませない。糖尿病性腎症から進行して透析になりますと、一人年間5～6百万円かかる。したがって、今すぐに成果は出てこないのですが、受診をして悪化しないだけでも5～6百万円違うということで、一部ご理解いただけるといいのかなと思います。
委員	今の関連ですが、診療情報提供事業が新たに加わるが、なぜこれが赤字解消・削減計画の中に位置づけられているのか。受診率向上のために実施するということですがけれども、基礎疾患ある人も含めて医療

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>機関からいろいろな情報を収集することで、どの地区にはどういう傾向の方が多くいて、例えば、基礎疾患も含めてそういったことについて対策を打つことが今後できるということで、包括ケアシステムの構築も同時に進められているわけですね。その為、効果的な保健指導を狙いともしているのかなと思います。病気というのは早期発見、早期治療が医療費の削減につながっていくという基本的なスタンスがあって、診療情報を提供していただくことで様々なデータを市が集積して分析して政策につなげていくというところでは、数字ですぐには表れないのですけれども、すごく重要な事業だと思っております。</p> <p>私が懸念しているのはその先なのですけれども、行政が収集したデータがマイナンバーの関係なのですけれども、その後どう活用されていくのかというところでは、様々な保険会社がありますが、そういったところにも今後提供されていくのではないかという懸念があるわけですね。法律ではそういうことができるという形になってきていますので、このようなビッグデータの活用が今後企業さんの様々な経済活動と市民の健康とがウインウインの関係でつながっていくと、非常にセンシティブな問題が先にはあるものですから、市としては市民のそういった個人情報については、個人情報の法律も変わってしまっておりますが、取り扱いも従来スタンスでしっかりと守っていただきたいなということを、これは意見として申し添えたいと思います。</p> <p>(3) 令和3年度川越市国民健康保険運営協議会スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事務局より説明</li> <li>○質疑（なし）</li> </ul> <p>(4) その他（なし）</p>
副会長	<p>4 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○副会長から挨拶</li> </ul>